

北陸新幹線 敦賀駅外観の全景が現れます！ ～煌めく大海から未来へ飛翔する駅の誕生へ～

鉄道・運輸機構（JR TT）は、これまで敦賀駅新築工事において屋根、外壁工事等を進めてまいりましたが、このたび外部足場の解体に伴い、駅外観の全景が現れます。

敦賀駅は、「空にうかぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」をデザインコンセプトとし、煌めく大海から未来へ飛翔する駅となることを目指して建築が進められてきましたが、2月15日（水）までに東西両面の外部足場（一部の仮設設備を除く。）が解体され、整備新幹線で最大規模（高さ約37m）となる駅外観の全貌をご覧いただくことができるようになります。これにより、金沢・敦賀間6駅すべてにおいて外観の全景が現れます。

引き続き、安全に配慮しながら内装工事、設備工事を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



駅舎東側外観写真（令和5年1月現在）

<本件に関するお問い合わせ先>

北陸新幹線建設局 渉外部

TEL 0776-25-1280

デザインコンセプト

「空に浮かぶ～自然に囲まれ、港を望む駅～」



デザインイメージ

煌めく大海から未来へ飛翔する駅

敦賀湾の波の煌めきを表現し、
豊かな自然を感じられる駅をイメージ



コン
コース

天井全体を北前船の帆をイメージした浮遊感のあるデザインとし、広いコンコース空間に相応しいスケール感の大きなデザインとなるよう工夫しています



ホ
ーム

床は船の甲板をイメージした木調タイルで仕上げ、待合室は船をモチーフとしたデザインとしています

北陸新幹線 敦賀駅新築 工事概要

1. 工事件名 北陸新幹線、敦賀駅新築
2. 工事場所 福井県敦賀市木ノ芽町地内
3. 工事内容 敦賀駅

駅本屋^{※1} 鉄骨造2階建 約12,000㎡ ※1:コンコース、駅務室、待合室など、旅客・駅務施設を指す

旅客上家^{※2} 鉄骨造平家建 約12,700㎡ ※2:新幹線ホーム上に掛かっている屋根・外壁を指す

東口棟^{※3} 鉄骨造2階建 約1,200㎡ ※3:駅舎東側に面する出入口を指す

ごみ集積室^{※4} 鉄骨造平家建 約300㎡ ※4:駅のごみを集積する倉庫を指す

乗換こ線橋^{※5} 内装 約600㎡ ※5:西側在来駅舎への連絡通路を指す

避難階段(1)～(4)^{※6} 鉄骨造 合計 約300㎡ ※6:外部への避難階段を指す

4. 施工者 鹿島・竹中土木・前田産業北陸新幹線、敦賀駅新築特定建設工事共同企業体

5. 駅諸元 ホーム形式:島式2面4線

ホーム延長:312m、駅舎の高さ:約37m、駅舎の幅:約44m